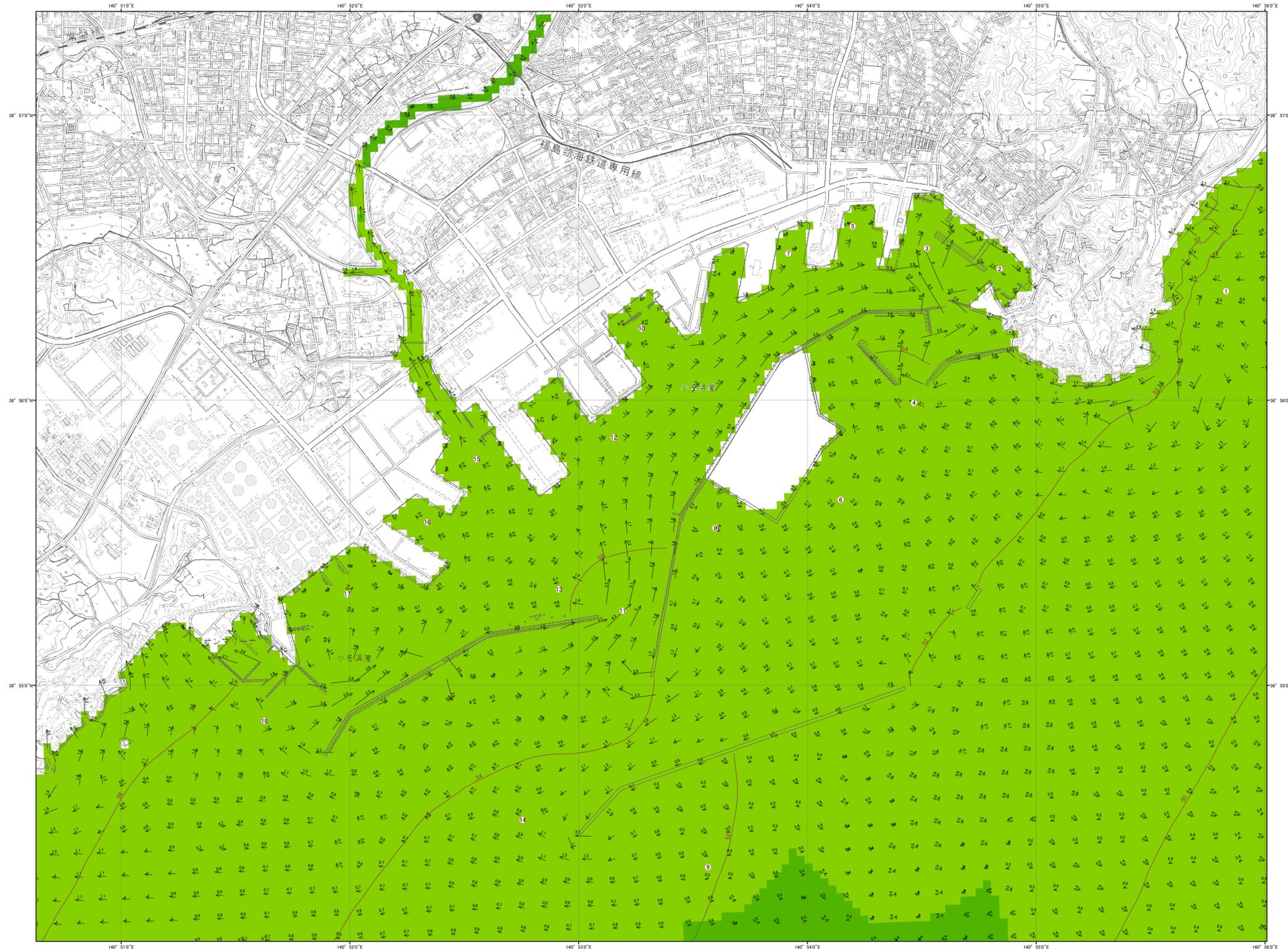


計算条件：最高水面(零位)
隆起量：平均 -0.09m(-0.10m ~ -0.08m)
Z0：0.84m
備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系 (WGS84)

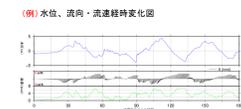


凡例

水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

- 最大水位上昇
0.5~最大1.6m
0.5未満

経時変化図出力点
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)



進入時最大流 [knot]

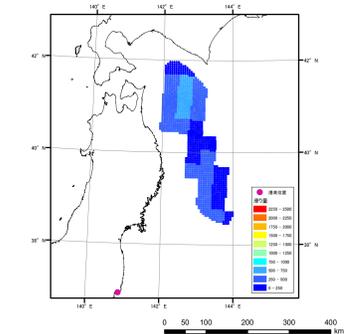
- 3 knot
2 knot
1 knot

津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を出している。

防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

断面モデル



三陸沖北部地震
モーメントマグニチュード Mw 8.4

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ
・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び数値地図25000(地図画像)(国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平28情標 第1374号 平成29年3月10日)

本断面モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。

作成機関：海上保安庁
防災情報図作成年月：平成29年7月(初版)
地形データ作成年月：平成29年1月(初版)